

出向く宮農レポート

～レベルアップを目指して～



北部宮農センター 長久手地区担当
廣瀬 凱

長久手地区で、ほうれん草やスイスチャード※など、多品目栽培に取り組んでいる田中明子さんの圃場を訪問しました。田中さんは令和5年度『女性のアグリスクール中級』を受講する傍ら、自ら5aの畑でも野菜の栽培を行っています。常に「自分が美味しいと感じたものを皆に届けたい」と話してくれる田中さんは、防虫網やコンパニオンプランツ※などを活用し、できるだけ農薬などに頼らないこだわった栽培をしています。

今回、長久手産直友の会で、出荷誘導の一環として野菜の種子を希望会員へ配付しました。田中さんにはその一枠、「水菜」の栽培に取り組んでいただきました。丁寧な栽培管理で、病害虫の被害も見られず、出荷できるまで生育しました。しかし、一部生育にバラツキがあったため、出荷できるサイズとなったところを順次出荷していただくよう依頼しました。出荷調整の際は、収穫した一株を小分けにすると傷みが速くなることもあるため、株単位で出荷調整して出荷すること、春先は抽苔※の心配があるため取り遅れがないよう順次出荷をすることを指導しました。

長久手グリーンセンターで見かけたら手にとっていただきたいと思います。私も田中さんが丹精込めてつくられた野菜をもっと多くの方に届け、また、女性や若い方が農業に興味を持つきっかけとなっただけのよう活動していきます。お困りの時はお声かけください。



※スイスチャード…地中海原産の野菜で赤や黄色などカラフルな茎、葉脈を持つビーツの仲間。味はほうれん草に似ていて、シャキシャキとした食感です。

※コンパニオンプランツ…「共栄作物」とも言い、植物は互いに影響しあって生きている。作物にも好き、嫌いがあり混作、混植などでこれを利用したもの。

※抽苔…花芽がついた茎が伸びた状態



田中さんにインタビューしてみました!!

Q アグリスクールに参加したきっかけは何ですか？

A もともと自給自足に憧れがあったのと、安全な野菜を食べたいと思い、はじめは市民農園を借りて独学で栽培をしていました。そこで出会った方にアグリスクールを紹介していただき、しっかりと農業について学びたいと思い参加しました。

Q 参加してみてどうでしたか？

A 参加して本当に良かったです。実地で学ぶことができるので、本や動画で勉強するよりも知識が身につきます。

Q 実際に出荷してみてどうですか？

A 産直施設はお客さんとの距離が近く、直接美味しいと言われてもらえるのでとても励みになります。

